

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

急性期脳梗塞に対する血管内治療により回収された血栓の組織性状と画像所見・治療の有効性に関する研究

1. 研究の対象

2019年1月1日 から 2025年7月31日 までの間に、当院の脳神経内科で急性期脳梗塞についての機械的血栓回収療法を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2030年3月31日 まで
25-916

3. 研究目的・方法

目的 下記の試料・診療情報等を利用し、脳梗塞における血栓形成の機序について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において血管内治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに画像、背景因子のデータを選び、回収された血栓の組織性状に関する分析を行い、血栓の出現する仕組みについて調べます。

方法 この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目4に記載する検体等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：血栓回収療法で回収された血栓
- ・ 情報：術前、術中、術後に得られた画像所見（脳血管撮影、CT、MRI、超音波のデータ）、血液検査所見、臨床情報（年齢、性別、現病歴、既往歴、内服歴、症状、脳梗塞の病型）、治療内容(血管内治療と術後内科的加療)、治療後の経過、脳卒中再発の有無、脳梗塞後の機能転帰

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2245）

研究責任者 脳神経内科 永田 栄一郎

問い合わせ担当者 脳神経内科 中山 平